

# タイ研修ツアー

データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター 教授  
深谷良治

## 1. 概要

2023年9月4日(月)から9月12日(火)までの日程で、タイ王国においてスタディツアーを実施。データサイエンス学部学生6人、データサイエンス研究科学生3人、教員3名が参加し、タイ王国におけるモノづくり教育の現状、DXの状況、現地日本企業の現状(現地陵水会会員との意見交換含む)、歴史文化など様々な分野について学ぶ機会を設けた。

9月4日	出国(名古屋~バンコク)、歓迎会
9月5日	泰日工業大学(TNI)、TNICとの交流
9月6日	泰日工業大学(TNI)交流、陵水会OB訪問
9月7日	古都アユタヤ訪問
9月8日	タイ財閥CP(チャロン・パカポン)訪問
9月9日	タイ市内散策(with TNIC学生)
9月10日	タイ市内散策(with TNIC学生)
9月11日	NTTデータ(タイ)訪問
9月12日	帰国(バンコク~名古屋)

表1 研修ツアースケジュール

## 2. 泰日工業大学(TNI)との交流

2022年9月に連携協定先大学であるTNIから学長と副学長が来学し、学術交流協定、学生交流協定の更新締結式を行った。それを受けてTNIとその下部組織である泰日国際ナショナルカレッジ(TNIC)との交流プログラムを2023年9月に実施することとなった。バンコクに着いた日の夜の夕食会での心温かい歓迎を受けて、双方の教員と学生の交流がスタートした。

TNIとの交流プログラム初日はキャンパスツアーで、もの作り教育の現場として旋盤、NC機器、ロボットなどの実習設備を見学し、

実際に手に触れる体験学習も行った。

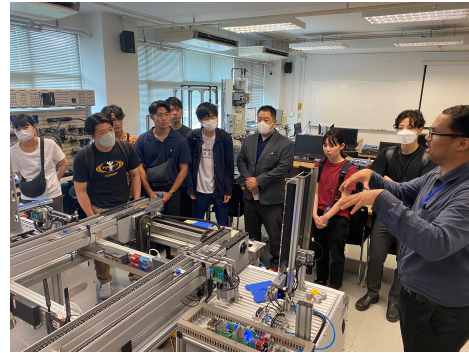


図1 NC機器の実機による説明

データサイエンスコースの学生との交流としては、「デザイン思考」の授業が行われ、大学近くのカフェの顧客データ分析によるビジネス価値創造ワークショップを行った。

交流2日目は、サバイバル・タイ語研修やタイ伝統音楽レッスンを実施。タイの学生たちとの文化交流を深めた。これと並行して滋賀大とTNIの教員間で、互いの研究内容の紹介などの意見交換も行った。



図2 タイ伝統音楽レッスン

夕方からは、バンコク市内で陵水会タイ支部の先輩方との意見交換会が行われ、国際ビジネスの最前線で活躍する滋賀大OBの方々から学生は薫陶を受けた。世界に広がる人脈の大切さを実感できる会となった。

## 3. タイ財閥CPグループ訪問

CPグループはタイ最大の企業グループであり、食品、小売り・ドラッグストア、テレ

コム・デジタル、不動産、製薬・病院、自動車・再生エネルギー、金融といった幅広い分野で事業展開している。今回の訪問は、小職と長年の知己であるグループCTOの好意で実現した。CPグループは通常は教育機関による見学は受け入れておらず、本学学生にとって希少かつ貴重な機会となった。

CPグループはセブンイレブン14,000店舗、大手スーパーLotus 2000店舗を擁する。今回はDX化の進んでいる先進的な小売店舗を訪問し、無人レジ、ダイナミックプライシングタグ、顧客の動線分析などを見学した。

午後には、CPグループの研究拠点 True Digital Parkにて、デジタルイノベーションのショーケースを見学し、データサイエンスやAIをビジネスに活用した事例を紹介された。具体的には、スマートコンビニストア、スマート養豚所、スマート養鶏所、スマートエビ養殖所、スマートヘルスケア等の応用事例の詳細な説明を受けた。

特にスマートエビ養殖では、日本のAIスタートアップの技術にいち早く出資してその技術を取り入れ、ビジネスに生かしたことも説明された。

タイのリーディングカンパニーが、デジタル変革にスピード感をもって取り組んでいることを目の当たりにした学生は、「日本の産業は先を走っている」という先入観が覆された様子であった。

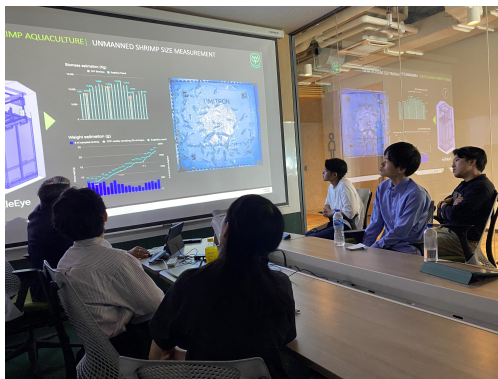


図3 スマートエビ養殖の説明

#### 4. NTT データ (タイ) 訪問

小職がかつて拠点長を務めていた NTT データ・タイ現地法人を訪問。タイ国での銀行業界のDX事情、顧客へのデジタルマーケティングにおけるデータ分析、日系自動車会社へのITソリューション提供におけるプロジェクトマネジメントなどの事例説明を受けた。

具体的なDX事例を通じて、顧客ニーズにどう答えるか、プロジェクトを円滑に進めるための人間力の重要性などを学生は学んだ。

午後にはデータ分析・可視化ツールであるTableauの使い方のレクチャーを受け、グループ演習とプレゼンを通して簡潔かつ効果的に分析結果を可視化してプレゼンすることの大切さを学生はハンズオンで体得できた。



図4 Tableauのグループ演習

#### 5. 帰国後報告会

帰国後に、主な気づきと学び体験を共有する報告会を実施した。参加者全員がそれぞれの報告を対面で実施し、以下のような活発な意見交換もなされた。

- ・得られた人脈を将来大切に活用する。
- ・何事にもトライする気持ちを生かす。
- ・異文化の人々と深く交流し、相互理解する。

#### 6. 謝辞

今回の研修ツアー実現に向けてご尽力いただいた国際交流課やDS連携事業推進の皆様、小出英樹彦根商工会議所顧問、同僚の佐藤正昭先生、村松千左子先生に感謝の意を表したい。